

プロテインシークエンサー サンプル調製ガイドライン

★溶液サンプル

好ましい溶媒

酸類 : 酢酸、トリフルオロ酢酸、ギ酸 など

アルカリ類 : トリメチルアミン、トリエチルアミン など

有機溶媒 : アセトニトリル、エタノール、メタノール など

その他 : D.l.water

HPLC グレード以上の高純度試薬を用いる。

例) 0.1-1.0%酢酸、0.1%TFA、30%アセトニトリル水溶液

好ましくない溶媒

不揮発性バッファー類 : リン酸塩、トリス、グリシン など

アミノ基を持つもの : トリス、グリシン、アンモニア、アンモニア塩、
アンフォライン など

粘度の高いもの、不揮発性のもの : グリセロール、ショ糖 など

非イオン性界面活性剤 : Triton、Brij、Tween

大量の SDS

サンプル蛋白質/ペプチド溶液にこれらが含まれている場合は、必ず脱塩等で除いて下さい。
反応効率低下、シークエンサーのライン詰まりなどの原因となります。

★HPLC Fraction サンプル

HPLC に使用する溶媒は

A:TFA/D.l.water

B:TFA/acetonitrile

リン酸塩類、酢酸塩類などの塩類バッファーは使用しない。

HPLC グレード以上の高純度試薬を用いる。

★PVDF 膜サンプル

PVDF 膜のみ、ニトロセルロース膜は使用不可

染色 : CBB-R250(>50ng)、アミドブラック(>50ng)、ポンソーS(>100ng)

脱色 : メタノール、D.l.water

いずれのサンプルについても、2pmol 以上 (~5 残基分析) のタンパク量が必要です。